

純正 ドライビングサポートプラス

取扱説明書

この度は純正ドライビングサポートプラスをお買い上げいただきましてありがとうございます。常に最良の状態でご使用いただくため、ご使用になる前に本取扱説明書をよくお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。

<ご注意とお願い>

- 本取扱説明書に記載されていない使用方法は絶対に行わないでください。
- 本商品の取扱い内容につきましてご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書は、ご使用の都度確認いただけますように、必ず保管してください。
- 本説明書に示されている **⚠警告** マークは、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

⚠警告：警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

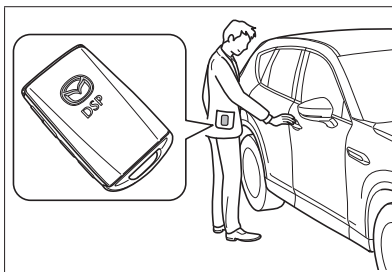


ドライビングサポートプラスは、急アクセル時加速抑制によって運転者を補助し、安全なドライブを支援します。
ドライビングサポートプラスを使用するためには、ご購入頂いたドライビングサポートプラス用キーが必要です。

ご購入頂いたドライビングサポートプラス用キーには補助キーは含まれておりません。

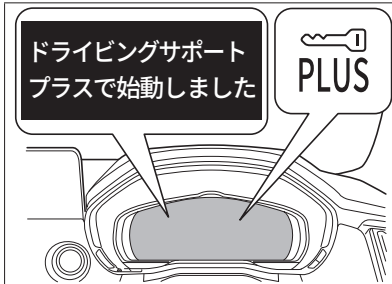
ドライビングサポートプラスを使用するには

■ドライビングサポートプラスを始動するには



1. ドライビングサポートプラス用キーを携帯していることを確認して、ドアを解錠します。

● 電源ポジションがOFF以外の状態でドアが施錠されているときは、ドライビングサポートプラス用キーでドアを解錠しても、ドライビングサポートプラスは作動可能になりません。



2. 通常の手順でエンジンを始動します。
3. 「ドライビングサポートプラスで始動しました」というメッセージが表示され、ドライビングサポートプラス表示灯が点灯したことを確認します。

● 電源ポジションをOFFにするまで、ドライビングサポートプラスが作動可能な状態になります。

4. ステアリングスイッチのINFOスイッチを押してメッセージを非表示にします。

● INFOスイッチを押すまでは、「ドライビングサポートプラスで始動しました」のメッセージは表示されたままになります。

■ドライビングサポートプラスが不要なときは

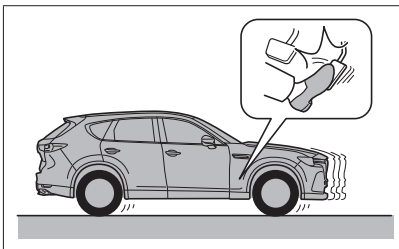
標準装備のキーを携帯してドアを解錠し、エンジンを始動したときは、ドライビングサポートプラスが非作動になり、標準車と同様の制御になります。

⚠警告

ドライビングサポートプラスを正しく使用するために

- 必ずドライビングサポートプラス用キーを携帯していることを確認してください。標準装備のキーを携帯しているときは、ドライビングサポートプラスが始動しません。
- ドライビングサポートプラス用キーと標準装備のキーを同時に携帯しないでください。ドライビングサポートプラスが始動しない場合があります。
- エンジンの始動後は、ドライビングサポートプラス表示灯が点灯していることを必ず確認してください。ドライビングサポートプラス表示灯が点灯していないときは、ドライビングサポートプラスが作動しません。また、ドライビングサポートプラスが不要なときは、ドライビングサポートプラス表示灯が消灯していることを必ず確認してください。
- ドライビングサポートプラスが故障した場合、i-ACTIVSENSE 警告表示 / 警告灯が表示 / 点灯します。

急アクセル時加速抑制について



低速走行（前進時約 30km 以下、後退時約 15km 以下）中に、ペダルの踏み間違いなどでアクセルペダルが速く強く踏み込まれたとシステムが判断したとき、エンジンの出力を抑制することで、車両が急加速しないように制御します。

警告

安全にお使いいただくために

- システムを過信しないでください。システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず車両周辺の安全を確認しながら運転してください。
- 安全運転を行う責任は運転者にあります。常に周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。急アクセル時加速抑制は、状況によっては作動しない場合もあります。
- 急アクセル時加速抑制は衝突を防止するシステムではありません。車両を自動で停止させる機能はないため、加速抑制後も車両は惰性で動きます。周囲の交通状況を確認の上、必ずご自身でブレーキペダルを踏んでください。
- 急アクセル時加速抑制は意図せぬ急加速の防止を補助する機能ですが、走行状況によっては、加速が必要なときにもエンジンの出力が抑制される場合があります。安全、かつ環境に優しい運転をするためにも、日頃からアクセルペダルはゆっくり操作するように心がけてください。
- お客様ご自身で急アクセル時加速抑制の作動テストを行わないでください。状況によってはシステムが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

急アクセル時加速抑制が作動したとき

- 急アクセル時加速抑制が作動すると、エンジンの出力を抑制します。すみやかにアクセルペダルから足を離して、ブレーキペダルを踏んでください。アクセルペダルを踏み込んだまましていると、しばらくしたあとに車両が加速し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

右左折・車線変更するとき

- 必ず方向指示灯を点滅させてください。方向指示灯が点滅していないと、ドライビングサポートプラスによりエンジンの出力が抑制され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

急アクセル時加速抑制が作動したとき



急アクセル時加速抑制が作動したときは、ブザーでお知らせするとともに、メーター内にメッセージが表示され、マツダ・レーダー・クルーズ・コントロールが解除されます。

メッセージが表示されたときは、すみやかにアクセルペダルから足を離し、ブレーキペダルを踏んでください。

知識

■急アクセル時加速抑制の作動条件

ドライビングサポートプラスが始動したあと、次の条件をすべて満たした場合、急アクセル時加速抑制が作動します。

- シフトポジションがP・N以外するとき
- 車速が前進時約 30km 以下、後退時約 15km 以下のとき
- アクセルペダルを速く強く踏み込んだとき
（アクセルペダルを踏み込む速度と踏み込み量が一定以上のとき）

次の条件のいずれかを満たした場合、エンジンの出力抑制量を少なくし、前進時は約 30km/h、後退時は約 15km/h^{*} までゆるやかに加速します。

- 加速抑制作動中にアクセルペダルを約 5 秒間踏み続けたとき
- 加速抑制作動後すぐにアクセルペダルを速く強く踏み直したとき
^{*} 状況によっては所定の速度以下に抑制できない場合があります。

■急アクセル時加速抑制が作動しないとき

次の場合は、加速が必要な場合を考慮し、急アクセル時加速抑制を作動させません。アクセルペダルをゆっくり操作し、安全運転を心がけてください。

- 方向指示灯の点滅中、または消灯したあと約 2 秒間
- ブレーキペダルを踏んでいるとき、またはブレーキペダルを離れたあと約 2 秒間
- 急な上り坂に自車がいるとき

■システムが正常に作動しないおそれのある状況

次のような状況ではシステムが正常に作動しない場合があります。

- 車両の変化
 - 積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
 - ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取付けたとき
- 周辺環境の影響
 - 坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
 - 雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
 - 坂道の出口など車両姿勢が急激に変化したとき
 - スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき

■加速したい場でシステムが作動するおそれのある状況

次のような状況では踏み間違いでなくてもシステムが作動する場合があります。アクセルを離してゆっくり踏み直してください。

- 車両の変化
 - 積載状況などにより車両姿勢が大きく傾いたとき（ノーズアップ・ノーズダウンなど）
 - ローダウンサスペンション、純正と異なる径のタイヤなどを取付けたとき
- 周辺環境の影響
 - 坂道・凸凹道・砂利道などの非舗装路を走行しているとき
 - 雪道などスリップが発生するような場所を走行しているとき
 - 坂道の入り口など車両姿勢が急激に変化したとき
 - スピードブレイカーや縁石など大きな段差を乗り越えるとき
- 運転操作の影響
 - 車線変更や右折などで方向指示灯を点滅させずに急いで加速しようとしたとき
 - 惰性走行から急いで加速しようとしたとき